

石巻市復興支援ボランティア活動

東日本大震災発生から間もなく6年が過ぎようとしています。被害を受けた地域は未だ復興半ばであり、生まれ故郷に帰ることができない方々もたくさんいらっしゃいます。山形西高校友会は、震災以来「自分たちにできることはないか」と考え、宮城県石巻市の震災仮設住宅団地をたびたび訪問し、住民の皆さんと交流を深めてきました。

今年度は、7月24日（日）の1回目の訪問に引き続き、12月24日（土）に2回目の訪問を行いました。今回は、22名の1・2年生と3名の教員が「仮設向陽団地」を訪問しました。自治会長さんの話によれば、発足当時は170世帯ほどが入居していましたが、現在は40世帯を切るくらいまでになったそうです。

今回も「NPO法人 国境なき奉仕団 チーム山形 東日本大震災復興支援団」の皆さんの御協力をいただき、炊き出しのいも煮づくりや振る舞いの手伝いを行いました。

午後からは、集会場で住民の皆さんと交流会（クリスマスパーティー）を行いました。グループごとにクリスマスケーキのデコレーションをして美味しく味わったり、クリスマスソングやお馴染みの歌を全員で歌ったりして、楽しい時間を過ごしました。また集会場では、「いしのみなと教会」の皆さんによる合唱やハンドベルの演奏も披露され、私たちも住民の皆さんと一緒に楽しく聴かせていただきました。

山形西高校友会は、これからも住民の皆さんとの「絆」を大切にして、活動を続けていきます。

